

広報 だんち

2019
4月号

NO. 447

(協) 焼津水産加工
センター 発行
焼津市惣右工門1280番地の2
編集・総務係
発行・平成31年4月25日
TEL・054-624-2111
FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp/>

4月団地の言葉

「慣れ」と「油断」が事故の元、初心の気持ちを忘れるな

4月になり、組合では新年度がスタートしました。組合では1名の新入職員が入組しましたが、組合員企業でも新入社員の方が入社されオリエンテーション等されている事と思います。最近ふと思えますが実習生を継続的に受け入れている組合員さんでは年に何度か「新入社員が入社」といった感覚になるのではないのでしょうか？

さて4月1日の昼頃には新元号「令和」が発表され、筆者はニュースを見ながら「エイプリルフールに発表か・・・」などと思っていました。

改元によって生活が変わる訳ではありませんが、ソフトウェア会社や印刷業者が慌ただしく対応に追われているとニュースで報道されていたのをご覧になった方も多いのではないのでしょうか。筆者も普段事務所を使うファイルに「平成31年度」か「2019年度」かテプラの印刷に悩みました

が、後で「令和元年」と作り直すのが嫌なので、「2019年度」で統一しました。

話が逸れましたが新入社員研修等で昨年の新人(2年目)の方も仕事を教えたりお手本を見せる機会が多くなるかと思いが、その際に最も大切な基本を疎かにしてはいけません。その基本とは「安全第一」です。何事にも言えますが、慣れてくると作業スピードが上がります。しかし最初の頃のような注意深さは徐々に無くなってしまうという事です。世の中の労災事故の事例を見ていくと設備の不具合によるものや自然災害などによるもの、それからヒューマンエラー(人為的)によるものです。

設備などは定期的に点検・メンテナンス等をする事で発生リスクを軽減可能ですが、人為的なものは毎日お互いに注意し合っても発生してしまいます。

それは何故か、理由は単純で今月の団地の言葉にある通り「慣れと油断」です。「慣れる」緊張感の薄れであり「緊張感の無い状態」油断に他なりません。

これは仕事上の事だけでなく車の運転についても言えますね。「これ位なら大丈夫」などと油断していると、うっかり交通違反や事故を起こしてしまいます。ヒューマンエラーを防ぐのは各自の心掛け一つだと思っています。

この時期には新入社員の皆さんを見ながら、先輩社員の皆さんは自分自身が新人だった頃の気持ちを思い出し、慎重な作業を心掛ける事で無事故・無災害を達成出来るのではないのでしょうか。

今月の団地の言葉はかつお技術研究所さんの作品です。



今月の紙面

- P2 4月の定例役員会/ミヤンマー出張実習生面接/39期生終了式
- P3 焼津みなと祭り出店/組合実務担当者会議について/新入職員のご挨拶/総会のお知らせ
- P4 組織図改定

4・5月組合行事予定

- 4月19日(金) 定例工場長会議
- 5月20日(月) 定例役員会

5月の暦

- 5月1日(水) 即位の日
- 5月3日(金) 憲法記念日
- 5月4日(土) みどりの日

◆4月の定例役員会◆

去る4月8日に、4月度定例役員会が開催されました。

1 平成31年度組合予算案の件

前回上程した予算案について、1ヶ月間役員各位にて検討をしていただき、今会議にて審議され、原案通り承認されました。この予算案については、6月14日に行われる組合通常総会に上程されます。

2 連絡・報告事項

「マリンセンターとの各種契約更改について」「実習生49期（緬国13期生）面接実施について」「人材確保等支援助成金事業について」ほか2項目、計5項目について承認されました。

◆ミヤンマー出張◆

～実習生面接～

4月2日にて、緬国ヤンゴン市のSBSで13期生（通算第49期生）の面接を実施しました。

今回の募集人数が2期連続で22名となり、組合研修事業開始以来、初めて2期連続で20名募集を超えたことです。22名の構成は（株）マルヨシ4名、（株）富士冷4名、（株）柳屋本店3名、（株）山七3名、（株）カネマサ2名、（株）マルシメ2名、（株）金虎2名、鯉節共同加工部2名です。

男子14名の募集に24名、女子の8名に対し32名の応募者が出て、依然、競争は激しいでした。受入れ企業の面接者は自分の会社に向かう人材を筆記試験の結果などを踏まえて、面接で決まりました。



面接の翌日、合格者の内の2名の家を訪問しました。ヤンゴン郊外に住まいを構えている家族は日本の情報を十分に承知しており、子供の日本行きは何も不安がなさそうです。

この期生は2019年10月15日に来日予定です。

◆39期生終了式◆

39期生6名は約3年実習終了で4月12日帰国しました。

ミヤンマーより第3期生として来日したのは3年前の6月14日です。当初、一緒に来たのは9名で、残念ながら2名は途中で行方不明、1名は途中帰国しました。

また、来日当初は実習1号の10か月計画は認可されている状態で、途中、法律が変わり、実習2号は2年以内にならなくては

ならないことで、結局、この期生は通算で在日3年に2か月欠けて終わり、まる3年の実習はできなくなりました。

技能実習法により、6名の内、4人は技能実習3号として、再来日2年間の実習ができるようになります。今現在は手続きを進んでおります。

4月10

日、監理団体の主催で終了式を行いました。監理団体及び受入れ企業は6人の活躍を期待しており、また、再会をお楽しみにしております。



◆焼津みなと祭りに出店しました◆

第65回焼津みなとまつりが4月14日（日）焼津漁港内港で行われました。雨が心配されていましたが開催時間中は雨が降らず暖かな日となり、まつり会場は多くの人たちで賑わいました。焼津ならではのかつおや地場産品があたる大福引、まぐろ重量当てクイズ、焼津おでん無料配布など大人も子供も楽しめる催し物が多数用意されていきました。ステージでは歌や踊り、焼津

ミナミマグロの解体ショーなども盛大に行われ、多くの来場者が焼津のイベントを楽しんでいました。会場には100社近くの企業・団体、そして姉妹都市の岐阜県土岐市・島根県松江市・岩手県陸前高田市・栃木県佐野市も出店し、ご当地グルメや地場産品等を販売しました。組合でもかつお節やフィッシュカルシウム等組合員商品を大きな声でアピールしながら販売しました。



同日、焼津新港では焼津みなどマラソンが開催され、多くのランナーが焼津市内外から参加し焼津の港湾地区では多くの来場者で盛り上がりました。

◆組合実務担当者会議について◆

3月20日(水) 商工中金静岡支店主催の「組合実務担当者会議」に出席して参りました。

主な議題は「組合金融事業における課題」と言う事で、当組合でも金融事業を行っておりですが、県内外の他組合で徐々に縮小・撤退に向けた動きが主流となつていく昨今の状況を鑑みて、如何にして組合の一事業として維持・継続していくのか方

法を模索する為に意見交換や情報交換を行う目的で催されました。

当日は加工センターを含む4つの組合と静岡県中央会から2名が出席され、他の組合事務局担当者からは「主な担保である不動産価値が下落の一途にある昨今の状況を考慮すれば積極的に融資を实行したいとは思えない」といった厳しい意見もあり、中央会からも「近年設立された新しい組合ではそもそも金融事業自体が定款に無いケースも多々あります。事実、県内に800程ある組合の中でも金融事業を行っている組合は100程度です」といった情報が提供されました。やはり組合として、どこまでリスクを負うべきか、また負えるのか・が焦点となりました。

ただ、実際に金融事業を行っている組合では「貸付金の上限を出資金の範囲内までと定めているので組合員から不満の声がある。金融機関と協調して、もう少し柔軟にニーズに応える方法があれば積極的に取り入れたい」という意見もありました。

商工中金櫻井支店長からは「組合や組合員企業を支援する事が当金庫の使命だと考えている。各組合の負うリスクを最小限に抑え、そのうえで出来る限りニーズに答えられる方法を金庫一丸となって検討していく所存です」と述べられました。

また、商工中金として今後も県内の組合事務局担当者を招いて意見交換会を開き、顧客のニーズや課題に耳を傾け支援方法を検討したいと述べられ閉会しました。

新入職員のご挨拶



業務管理部付 リ ブルース

ご縁があつて、焼津水産加工センターに入組させていただくことになりました。リ ブルースと申します。

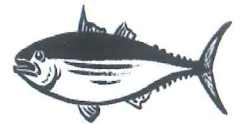
私は、魚の町である焼津で生まれ育ち、昔から魚関係の仕事に就きたいと思っていました。とても体力を使う仕事ですが持ち前の若さと行動力を活かし、自分の持っている力を全て使って組合に貢献できるよう一杯努力していきます。

よろしくお願ひします。

総会のお知らせ

(協) 焼津水産加工センター第47期通常総会・(株) 焼津マリンセンター第11期通常総会を左記の通りに行います。

日 時 平成31年6月14日
 受付時間 14時30分
 開 会 15時00分
 場 所 焼津グランドホテル
 (焼津市浜当目大崩海岸通り)



カツオ

§ 2019年(1~2月月計)の輸出入

※輸出はFOB価額、輸入はCIF価額

※財務省貿易統計データより

＜輸出＞		2019年		2018年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
フィリピン	インドネシア	1,008	143,368	912	156,714
マレーシア		175	35,031	-	-
		2	263	-	-
計		1,185	178,662	1,230	219,587

＜輸入＞		2019年		2018年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
インドネシア		5,064	830,951	2,972	553,674
ベリーズ		147	19,599	264	31,906
アメリカ合衆国		24	4,744	-	-
計		5,262	859,794	4,586	787,205

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

東京市場ドル円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年 高値	113.18	110.29	106.99	109.49	111.39	110.90	113.14	112.15	113.67	113.34	114.21	113.82
安値	108.51	105.55	104.64	105.70	108.36	108.73	110.27	109.78	110.39	111.69	112.40	110.00
月末仲値	108.79	107.37	106.24	109.35	108.70	110.54	111.01	111.06	113.57	113.26	113.47	111.00
2019年 高値	109.87	111.13	112.01									
安値	107.52	108.73	109.70									
月末仲値	108.96	110.87	110.36									

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年(単位:t)	24,786	23,733											48,519

情報

§ 国内主要漁港市場の水揚 (2019年1~2月計)

※水産庁統計データ
産地水産物流通統計より

	2019年		2018年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
＜生カツオ＞	1,214	351 円	1,630	413 円	74%	85%
＜冷カツオ＞	27,106	194 円	31,231	219 円	87%	89%
＜カツオ合計＞	28,320	201 円	32,861	229 円	86%	88%

§ 焼津水揚 (2019年1~3月累計)

※焼津漁業協同組合統計データ
取扱高対比表より

	2019年		2018年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
＜1本釣カツオ＞	6,596	230 円	5,490	268 円	120%	86%
＜巻網カツオ＞	17,708	158 円	18,817	188 円	94%	84%
＜カツオ合計＞	24,304	178 円	24,307	206 円	100%	86%

◆ 組織図の改定 ◆

(協) 焼津水産加工センター及び(株) 焼津マリンセンターでは平成31年4月1日より、下記のように新組織の体制に改定しましたので、お知らせ致します。

《(協) 焼津水産加工センター》

参事	事務局長	部	部長	次長	課	課長・室長	係	係長	主任	係	員		
市川 保	水野 泰成	業務管理部	長谷川 隆人		業務課			◆小形					
					管理課								
					総務係		青野						
							小形	原	栗原	池ノ谷			
							水野						
		業務管理付	小泉 陽之	法月 隆行	小野田 吉晴			上木 原	原川	吉田	女野野	女山口	
		(株) 焼津マリンセンター 出向			橋本 雄彦			藤田	池田	花岡	中橋 実	女山口	
								鈴木	坂本	大石 敏		大石 敏	
								宮本	池之谷	リ			
					化成課	大石 祥	生産係	松本	杉浦	伊藤	酒井	松永	山本
										岩井	徳岩	女野和	女石田
										良知	池谷	女八木	女長谷川
		環境資源部	◆小泉 陽之	今井 龍策			生産管理係	尾崎	鈴木 麻				
								関野 隆	榎谷	大石 敏			
								増田 卓	大石 敏				
								共同ガスマニ					
									大山				
										ティリ	スモン		
											◆スモン		

◆兼務 女パート職員、総務係用職員、期間雇用職員

《(株) 焼津マリンセンター》

営業本部長	営業副本部長	部	部・副部長	課	課長	係長	主任	係	員	
				一課 (一冷)	◆法月副本部長		藤田	原川	女野野	女長彦
				二課 (二冷)	◆小泉陽本部長	橋本 雄彦	宮本	大石 敏	女大石 敏	
				三課 (三冷)		小野田 吉晴	上木 原	花岡	池之谷	
		営業第二部 (化成原料仕入・化成製品等専事部門)		一課 (化成原料)	◆小泉陽本部長					
				二課 (化成製品販売と商事部門)	◆法月副本部長					
		営業第三部 (カルガム等製造・食品等仕入販売)			法月副本部長					
						水野 泰	鈴木 麻	女橋 実		
										◆水野 泰

◆兼務 女期間雇用職員

マーカーは加工センターからの業務出向者

◆印=課業務統括担当者